

第1章 本市の概要

1 位置概要

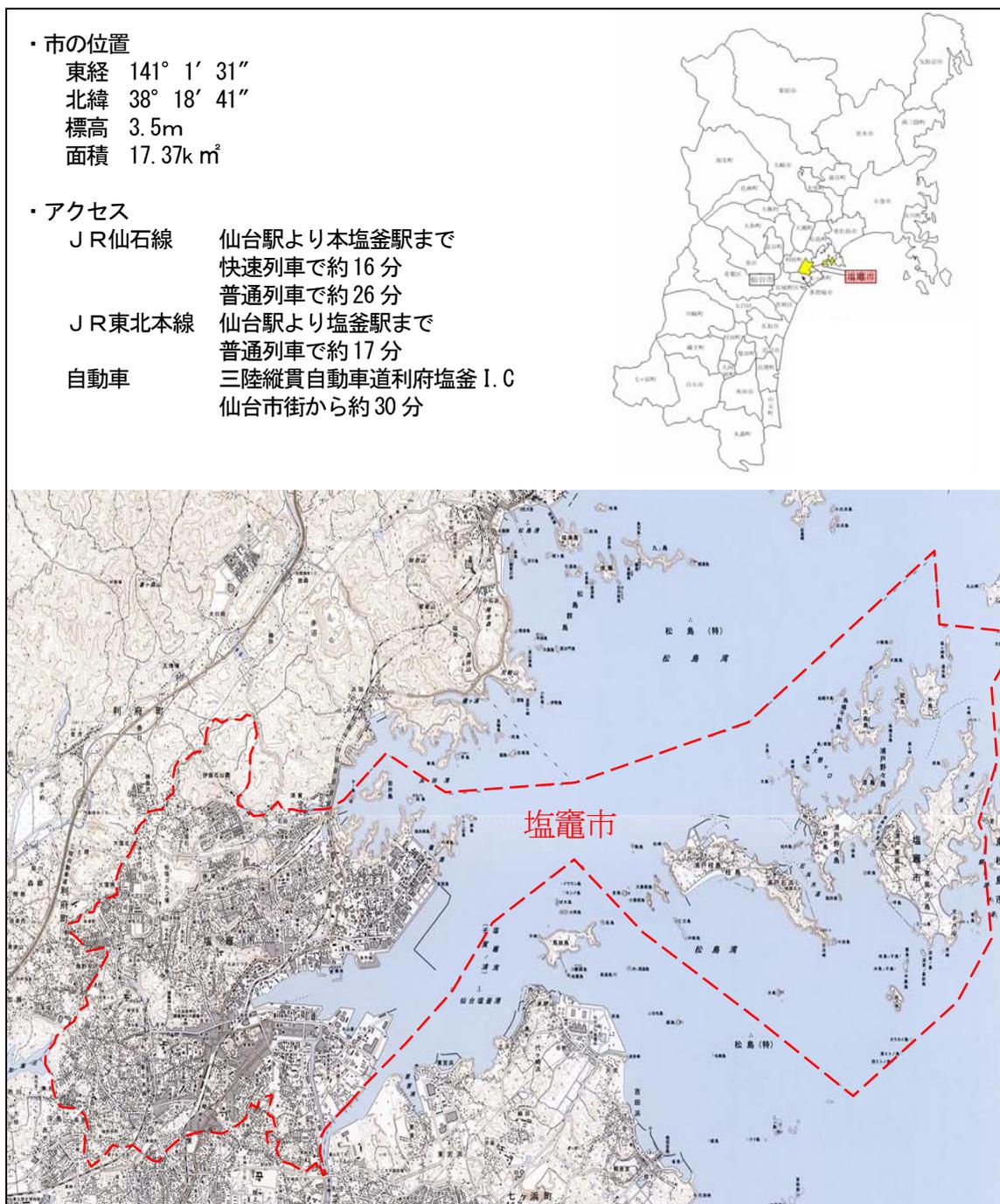
2 自然環境

3 社会環境

1 位置概要

塩竈市は、宮城県のほぼ中央、仙台市より北東へ16kmに位置し、南は多賀城市及び七ヶ浜町に、西及び北は利府町に接しています。東は、日本三景で知られる松島湾、また島嶼※部（浦戸地区）は、海峡を隔てて東松島市宮戸島に接しています。市域面積は17.37k㎡で、宮城県内市町村の中で七ヶ浜町に次ぐ2番目に狭い面積となっています。

〔塩竈市位置図〕

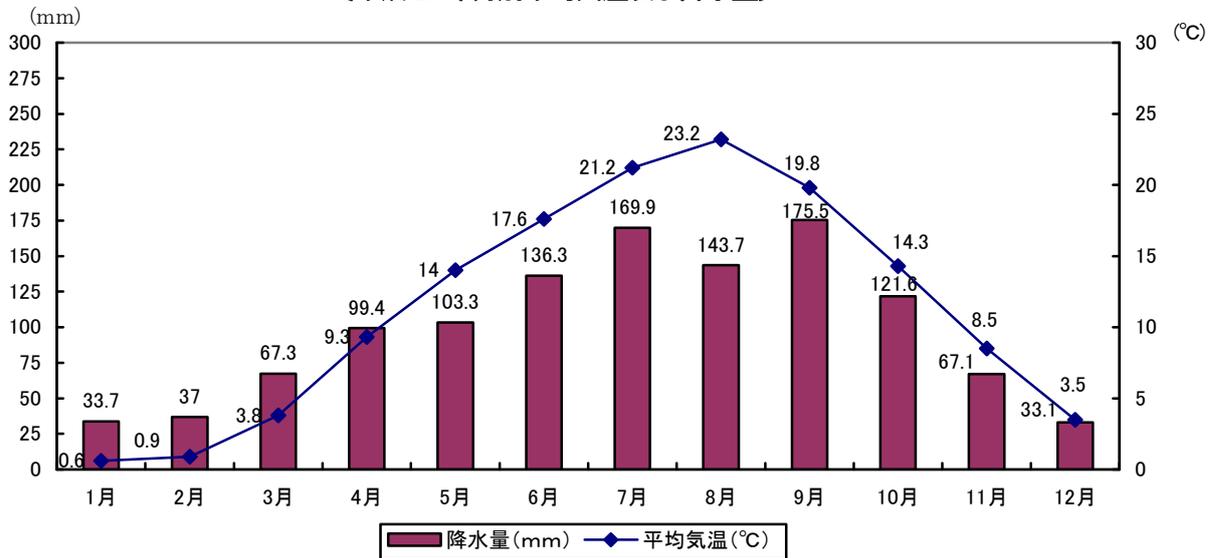


※島嶼／小さな島々のこと。環境基本計画では、越の浦と浦戸諸島をあわせて島嶼部としている。

(2) 気候

塩竈市の気候は、海に面しているため海流の影響を大きく受けるとともに、背後が丘陵地であるため冬は比較的温暖であり、夏の気温も比較的低い海洋性気候となっていますが、東に開いた地形のため、夏季には季節風が比較的強くなっています。

〔平成 27 年月別平均気温及び降水量〕



◆年次別気象概況(塩釜地域観測所(梅の宮浄水場敷地内))

区分		平成 23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
気 温	最高(°C)	34.6	33.4	35.7	33.4	35.8
	最低(°C)	-7.0	-7.2	-7.4	-7.1	-5.6
	平均(°C)	11.8	11.5	11.6	11.8	11.4
降 水 量	総量(mm)	1,105.5	1,049.5	1,074.0	1,141.0	1,188.0
平 均 風 速	(m/s)	2.4	2.5	2.4	2.5	2.5
日 照 時 間	総量(hr)	1,901.0	1,868.9	1,834.9	2,050.0	1,719.5

◆年次月別平均気温及び降水量の状況

区分	平成 24 年		25 年		26 年		27 年	
	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均気温(°C)	降水量(mm)
1月	-0.9	23.5	-0.6	39.5	0.7	15.5	0.6	33.7
2月	-1.1	47.0	-0.4	17.5	0.4	62.5	0.9	37.0
3月	3.3	110.5	4.6	2.5	4.4	138.5	3.8	67.3
4月	8.6	63.0	8.8	115.5	9.9	72.5	9.3	99.4
5月	14.8	185.0	13.3	26.5	15.4	76.5	14.0	103.3
6月	17.3	164.0	18.2	54.0	19.8	154.0	17.6	136.3
7月	21.9	142.5	21.4	257.0	22.8	90.5	21.2	169.9
8月	25.3	18.5	24.6	99.0	23.6	80.5	23.2	143.7
9月	23.2	85.5	21.1	206.5	19.7	101.0	19.8	175.5
10月	15.6	88.0	15.7	172.5	14.4	226.0	14.3	121.6
11月	8.5	82.0	8.6	14.0	8.9	60.5	8.5	67.1
12月	1.8	40.0	3.5	69.5	1.6	63.0	3.5	33.1
平均	11.5	87.5	11.6	89.5	11.8	95.1	11.4	98.9

(資料)仙台湾気象台

(3) 湖沼・河川

市西部には、多賀城市と利府町にまたがる市唯一の湖沼「加瀬沼」があり、昭和48年に付近一帯を含め、宮城県の緑地環境保全地域※に指定され、県都市公園※「加瀬沼公園」として利用されています。

また、市内には大きな河川はないものの、都市下水路的な小河川である新町川、宮町川、庚塚川、石田川があります。

(4) 動植物の分布

① 加瀬沼周辺

加瀬沼周辺には、クリやコナラ林が多く、モミ・アカマツ・スギ林などが随所に分布し、一年を通じてエナガ・シジュウカラ・ホオジロ・ヒヨドリなどが見られ、冬にはオオハクチョウ・マガモ・オナガガモ・ユリカモメなどが観察されます。

また、県内では希少なガガブタ・ヒメシロアサザといった水生植物が残されています。

② 鹽竈神社周辺

市のほぼ中央部に位置する鹽竈神社には、スギ林や多羅葉(宮城県天然記念物)をはじめ、自生・植栽あわせて五百種に及ぶ植物があり、中でも鹽竈桜は国の天然記念物並びに「市の木」として指定されています。

また、キジバト・セキレイ・ウグイスなどの鳥類も数多く観察されています。

③ 浦戸地区

松島湾の一角をなす浦戸諸島には、アカマツ林やクロマツ林が分布しており、キジ・ノウサギ、さらには大型哺乳類のタヌキの生息も観察されています。

※宮城県の緑地環境保全地域/県自然環境保全地域以外の区域で樹林地、池沼等特に良好な自然環境を形成し、都市環境又は都市構成上その存在が必要と認められる区域でその面積が規則で定める面積以上のものうち、自然的社会的諸条件からみてその区域における自然環境を保全することが当該地域の良好な生活環境の維持に資する地域。

※都市公園/都市公園法に基づき、国や地方自治体が設置する市民の休養・運動に供する公園または緑地のこと。

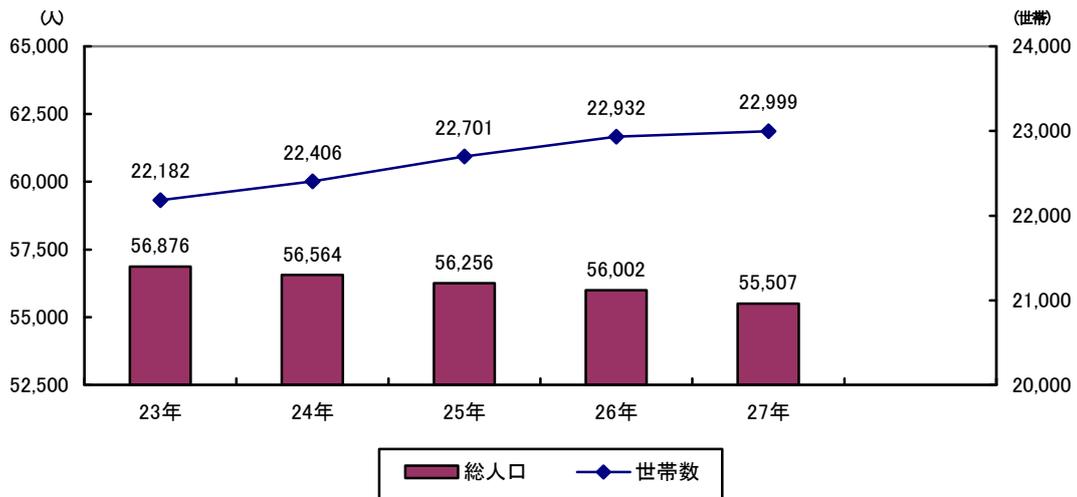
3 社会環境

(1) 人口・世帯数

塩竈市の人口・世帯数(住民基本台帳 各年12月末現在)は、市全体の人口については、近年、本土、浦戸ともに減少傾向が続いており、平成27年12月末に55,507人となっています。また、世帯数については、市全体の世帯数は、微増傾向にあり、平成27年12月末に22,999世帯となっています。このうち、本土では、微増傾向にありますが、浦戸では、世帯数も減少が続いています。

第5次塩竈市長期総合計画では、人口減少傾向を踏まえて、平成32年の塩竈市の将来人口を55,000人と設定しています。

〔人口・世帯数の推移〕(住民基本台帳 各年12月末現在)



区分		平成 23年	24年	25年	26年	27年
人口	総数	56,876	56,564	56,256	56,002	55,507
	(内浦戸)	516	473	436	417	384
	男	27,208	27,010	26,837	26,707	26,511
	女	29,668	29,554	29,419	29,295	28,996
世帯	世帯数	22,182	22,406	22,701	22,932	22,999
	(内浦戸)	232	214	204	199	191

(資料)住民基本台帳

(2) 土地利用

地目別の土地利用は、宅地が全体の約40%を占め、田・畑等の農地や山林・原野等の自然的土地利用面積を大きく上回っています。

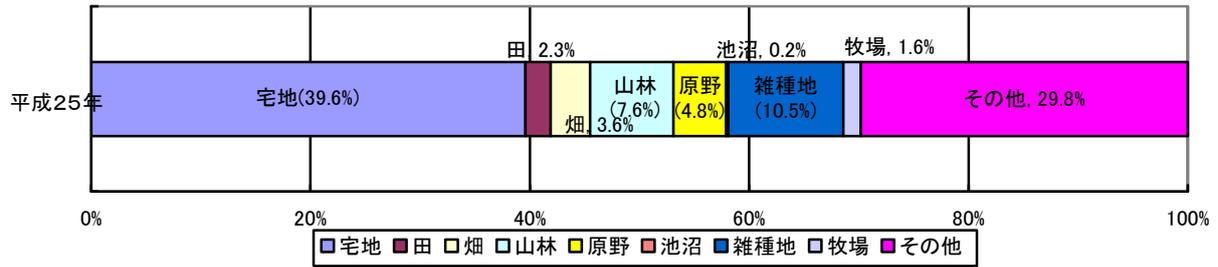
市内の土地利用規制については、赤崎地区、鹽塩竈神社社寺林(一森山)、桂島・野々島・寒風沢・朴島の浦戸諸島では風致保安林※に指定されており、さらに浦戸諸島は、国の特別名勝と県立自然公園※に指定され、土地の改変や開発行為等に規制がかかっています。

また、加瀬沼とその一帯周辺は、宮城県緑地環境保全地域に指定されています。

※風致保安林／社寺・名所・旧跡の景観や自然景観を維持するために、森林の伐採などの制限をおこなっている森林のこと。

※県立自然公園／優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図り、県民の保健・休養及び教化に資することを目的として、県が指定するもの。土地の所有の如何にかかわらず区域を画して指定される公園のこと。

[地目別土地利用割合]



◆地目別土地利用状況の推移(各年1月1日現在) (単位:ha)

区分	平成21年	22年	23年	24年	25年
宅地	702.6	702.9	703.2	708.3	707.9
田	41.9	41.9	41.9	41.9	41.9
畑	66.2	66.4	66.1	66.0	64.9
山林	135.4	135.4	135.4	135.4	135.4
原野	86.3	86.3	86.2	86.2	85.8
池沼	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1
雑種地	193.1	192.4	192.2	192.0	187.0
牧場	28.7	28.7	28.7	28.7	28.7
その他	528.7	528.9	529.2	524.4	531.3
合計	1,786.0	1,786.0	1,786.0	1,786.0	1,786.0

注)総面積は、各年の前年10月1日国土地理院調査による (資料)塩竈市統計書

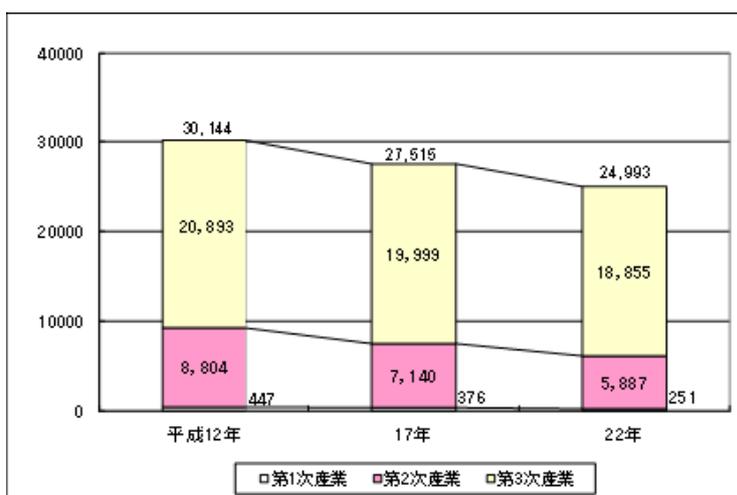
(3) 産業

平成22年国勢調査における産業別就業者総数は24,993人で、第1次産業については251人(1.0%)、第2次産業が5,887人(23.6%)、第3次産業が18,855人(75.4%)となっています。

また、平成24年の経済センサスによる市内民営事業所は、2,553事業所で、第1次産業が6事業所(0.2%)、第2次産業が465事業所(18.2%)、第3次産業が2,082事業所(81.6%)となっています。

市内の事業所、従業者数のうち、第3次産業の事業所、就業者数が大部分を占めています。

〔産業別就業者数の推移〕(国勢調査 各年 10月1日現在)



◆民営事業所数・従業員数の推移

(単位:事業所、人)

産業別	平成13年		平成16年		平成18年		平成21年		平成24年	
	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数	事業所数	従業員数
第1次産業	14	582	10	403	9	385	8	131	6	185
①農林漁業	14	582	10	403	9	385	8	131	6	185
第2次産業	683	7,629	606	6,184	560	5,878	552	5,501	465	5,284
①鉱業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
②建設業	326	1,907	294	1,601	278	1,655	287	1,521	241	1,383
③製造業	357	5,722	312	4,583	282	4,223	265	3,980	224	3,901
第3次産業	3,183	16,593	2,904	15,955	2,818	15,381	2,647	15,378	2,082	13,680
①電気・ガス・水道業	1	50	1	44	2	51	3	59	1	43
②運輸・通信業	93	1,462	73	1,607	77	1,560	87	1,808	78	1,672
○情報通信業			5	26	6	29	10	42	7	28
○運輸業			68	1,581	71	1,531	77	1,766	71	1,644
③卸売業・小売業	1,872	8,521	1,191	6,152	1,127	5,553	1,055	5,415	826	4,647
④金融・保険業	72	844	60	750	51	637	53	597	49	568
⑤不動産業・物品賃貸業	166	298	235	336	233	344	235	413	198	381
⑥サービス業	979	5,418	1,344	7,066	1,328	7,236	1,214	7,086	930	6,369
○学術研究、専門・技術サービス業							88	392	78	363
○宿泊業・飲食サービス業			520	1,656	496	1,694	413	1,734	250	1,318
○生活関連サービス業・娯楽業							298	1,032	230	845
○教育・学習支援			110	453	109	444	101	436	85	389
○医療・福祉			131	2,180	142	2,354	152	2,512	147	2,566
○複合サービス業			25	196	38	433	21	157	15	116
○その他サービス業			558	2,581	543	2,311	141	823	125	772
合計	3,880	24,804	3,520	22,542	3,387	21,644	3,207 (3,271)	21,010	2,553 (2,728)	19,149

注)平成13年、16年、18年は事業所・企業統計調査、平成21年は経済センサス・基礎調査、平成24年は経済センサス・活動調査
平成16年事業所・企業統計調査から産業分類が一部改定、平成21年経済センサス・基礎調査から産業分類が一部改定事業所数合計の()内の数値は、事業内容等不詳を含む事業所数。

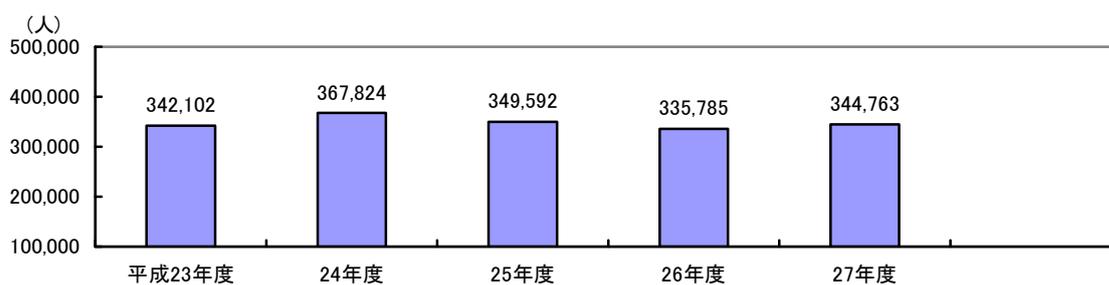
(4) 交通

① 市内循環バスの利用状況

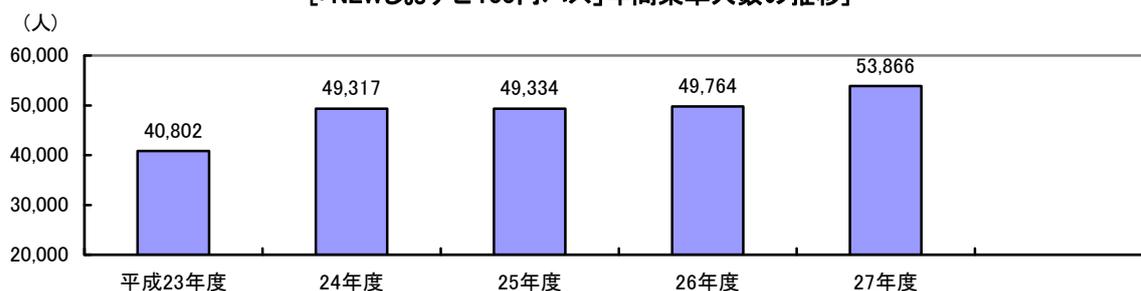
市内循環バスは、公共施設や JR 各駅などを結び、日常生活の利便性を図ることを目的として、昭和63年から運行が始まりました。

また、平成22年2月から、市内循環線バス「しおナビ100円バス」の空白地域への交通機関として、「NEWしおナビ100円バス」の運行を開始しました。

〔市内循環バス「しおナビ100円バス」年間乗車人数の推移〕



〔「NEWしおナビ100円バス」年間乗車人数の推移〕



◆市内循環バス「しおナビ100円バス」乗車人数の推移

区分	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
乗車人数 (人)	342,102	367,824	349,592	335,785	344,763
経常収益 (千円)	30,618	33,181	31,254	29,321	29,671
助成額 (千円)	5,439	4,587	6,446	8,850	9,812

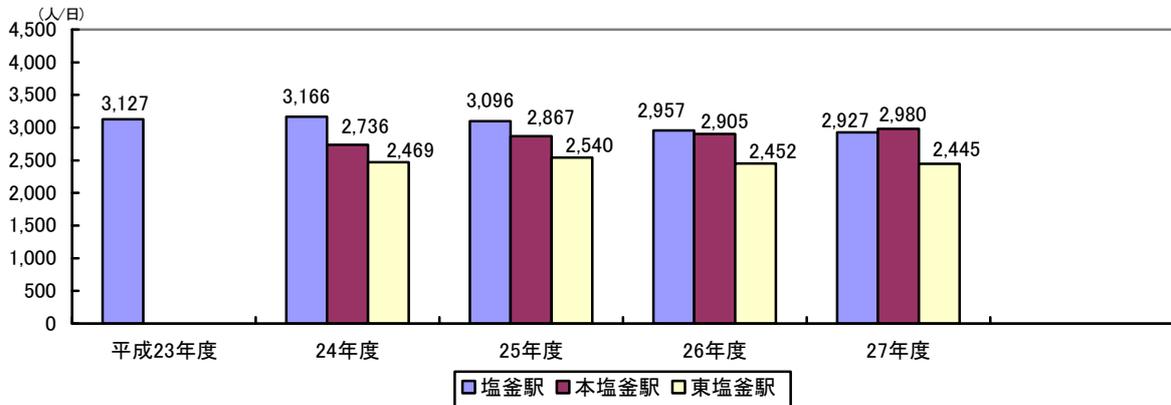
(資料) 塩竈市政策課

② 市内JR各駅乗車人員の推移

市内には、JR 東北本線の塩釜駅と、JR 仙石線の本塩釜駅、東塩釜駅、西塩釜駅の4駅があります。

各駅の1日当たり乗車人員は減少傾向にありますが、塩釜駅と東塩釜駅では、東日本大震災後若干の増加を示しています。

〔市内JR駅1日当たり乗車人員の推移〕



◆市内JR駅1日当たり乗車人員の推移 (単位:人)

駅名	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
塩釜駅	3,127	3,166	3,096	2,957	2,927
本塩釜駅	-	2,736	2,867	2,905	2,980
東塩釜駅	-	2,469	2,540	2,452	2,445
合計	3,127	8,371	8,503	8,314	8,352
西塩釜駅	-	-	-	-	-

注)平成18年度以降西塩釜駅は非公表

平成23年度は東日本大震災のため本塩釜駅、東塩釜駅はデータがありません

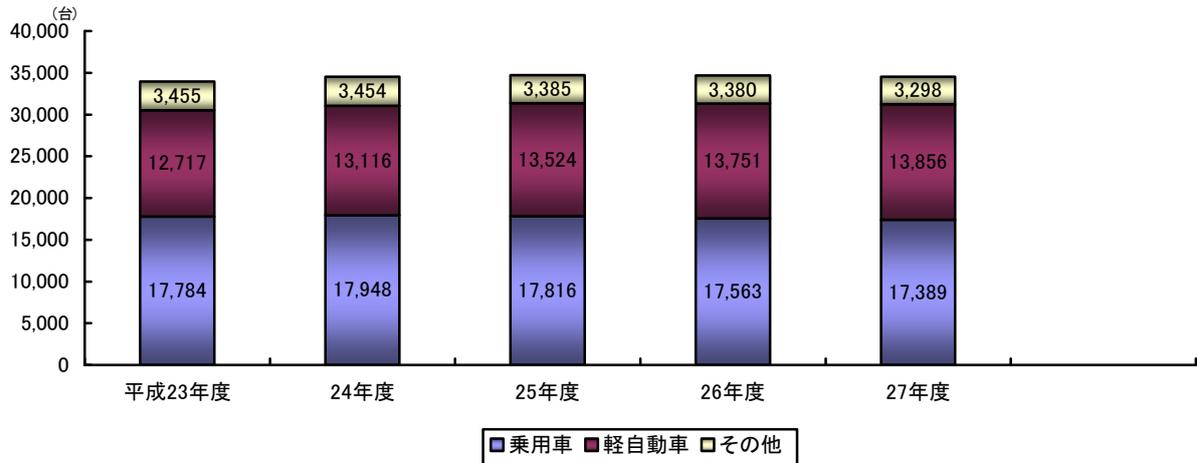
(資料)東日本旅客鉄道株式会社HP

③ 市内自動車保有台数の推移

自動車保有台数は、保有台数の合計は概ね横ばいで推移しています。

自動車のうち、乗用車や、貨物自動車等のその他の車種については減少傾向にあり、軽自動車は増加傾向を示しています。

[市内自動車保有台数の推移]



◆市内自動車保有台数の推移 (各年度末現在 単位: 台)

車種	平成23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
乗用車	17,784	17,948	17,816	17,563	17,389
軽自動車	12,717	13,116	13,524	13,751	13,856
その他	3,455	3,454	3,385	3,380	3,298
合計	33,956	34,518	34,725	34,694	34,543

(資料)東北運輸局HP